

令和5年愛知県支部学術講演会並びに総会開催される

愛知県支部では、去る1月29日（日）に、麻布大学獣医学部分子生物学研究室から村上賢教授をお迎えし、会員18名の参加を得て、令和5年支部学術講演会並びに通常総会が3年ぶりに開催されました。

総会に先立ち開催された学術講演会は、村上賢教授が『動物の遺伝子診断・DNA鑑定、他』と題して、15分程DNA鑑定の基礎知識の説明をして頂いた後、残りの時間は実際の応用例について、分子生物学研究室で取り組んでいる動物のDNA鑑定・遺伝子診断を中心に多数の具体例を紹介頂きました。

また、それだけでなく、分子生物学研究室で取り組まれている分子・細胞生物学、遺伝学関連の研究プロジェクトをご紹介頂きました。

先生は、講演時間の1時間30分、途中休憩時間を取ることもなく、非常に熱心にご講演されました。

学術講演会に続き行われた通常総会では、事務局から令和4年事業報告及び収支決算報告について及び令和5年事業計画及び収支予算案の2案が上程され、全て可決承認されました。

その後、村上賢教授より、大学の近況報告がありました。

ここ数年県支部総会への参加者数は低迷しており、本年はついに参加者が20名をわりこんでしまいました。コロナ禍により、一部の公衆衛生部会の先生方が、コロナウイルス相談窓口の当番と重なったりした事も影響があったと思われます。

令和5年も、引き続き会員同士の親睦を深め、支部同窓会の活性化に向けて一層の努力をしていきたいと考えています。

(樋口眞也 平成元年環境畜産学科卒)

